

保護者負担軽減計画について

< 京都府提出資料 >

学校名	京都共栄学園高等学校（全日制課程）
所在地	京都府福知山市篠尾62番地の5
電話番号	0773-22-6241

(1) 建学の精神	「人間は自他の関わりにおいて生存し、自然との共生の中で共に繁栄を求めて止まない。共存共栄は人間が世に処していく上での原則である。また、少年期は、それぞれの天分を養い高め、個性を伸長し、社会に適応する人間となるための自立能力を養うことが最も肝要である。本学の建学の精神は『自立共栄』。高邁なる理念を具体化し、教育の機会均等、基礎基本の学業と、個人の資質を高めるために独自性による私学教育を行い、以て有為な人材の育成を図るを目的とする。」これを建学の精神としています。																													
(2) 本校の特色及び 将来展望	JR福知山駅より南に徒歩10分のところに位置する男女共学の高等学校です。「自立共栄」の建学の精神のもと、「気魄」「信念」「自治」の校訓が示す人間を育て上げることを目指しています。それぞれの個性と特性を伸ばすために、総合コース（文理系、情報系、美術系、スポーツ系）、進学コース、バタビアコースの3コースを設置しています。運動系クラブ活動では、硬式野球部、サッカー部、バスケットボール部、文化系クラブ活動では吹奏楽部など優秀な指導者による活発なクラブ活動を行っています。将来は、校舎建て替えを実施し、生徒に安心安全を提供することを考えています。大学等との連携や放課後指導の充実等を一層進めるなど、教育内容の充実と進路実績の向上を図ります。																													
(3) ・ 令和8年度納付金 ※学科やコースによって 納付金に差異がある場合 は最低額を計上。 ・ 今回改定 あり なし ・ 前回改定 7 年度	【1年生】 <table><tr><td>入学金</td><td>施設拡充費 (入学時)</td><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計 (入学時除く)</td><td>考查料</td></tr><tr><td>50,000</td><td>50,000</td><td>532,000</td><td>18,000</td><td>550,000</td><td>15,000</td></tr></table> 【2年生】 <table><tr><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計</td></tr><tr><td>532,000</td><td>18,000</td><td>550,000</td></tr></table> 【3年生】 <table><tr><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計</td></tr><tr><td>532,000</td><td>10,000</td><td>542,000</td></tr></table> *施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考查料	50,000	50,000	532,000	18,000	550,000	15,000	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計	532,000	18,000	550,000	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計	532,000	10,000	542,000					
入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考查料																									
50,000	50,000	532,000	18,000	550,000	15,000																									
授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																												
532,000	18,000	550,000																												
授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																												
532,000	10,000	542,000																												
・ 今後の納付金に 対する考え方	令和8年度の納付金の改定予定はありません。納付金については、令和7年度に納付金を改定いたしました。改定内容としましては、施設拡充費等として、冷暖房費8,000円を追加設定いたしました。令和6年度入学生までは学級費として徴収しておりましたが、昨今の光熱費の高騰による価格見直しとともに、保護者負担軽減の観点から、授業料等減免補助金の対象となる経常的納付金としての取扱いに変更いたしました。本校では、時代変化に応じて多様な教育ニーズに対応したコース編成を行い、1クラスの生徒数においても以前の45人体制から少人数制化を進め、きめ細かな教育を実践しているところです。15歳人口減少と物価上昇という厳しい環境の中ではありますが、業務の合理化と効率化を図りながら、経費の削減に努め、新たに定める納付金において、本校が実践している教育活動を維持し、さらに発展させるよう努力してまいります。																													
(4) 教育内容、施設整備の 改善・拡充等の状況	教育内容については礼節教育と情操教育に重点を置き、知力、豊かな心、気力、体力、コミュニケーション力等を育む教育を実践し、厳しい時代を生き抜き、今後の時代を支える人材を育成します。また、社会変化に対応した国際教育、及び主体的に頑張る動機が芽生える様々なプログラムの開発と実行を重視します。若手教員を積極的に採用することにより新しい発想や工夫を学習活動に取り入れ、斬新な教育内容を提供します。施設・設備面においては、教育環境の維持を目的として、限られた予算の中で既存の学校設備の改修を行いながら、生徒の学校生活の充実と安全の確保に努めてきました。今後は教育施設の建て替えも含め、教育環境の改善を進めて参ります。																													
(5) 令和8年度の保護者 負担軽減策及び考え方	本校では従来より、国の「就学支援金制度」と京都府の「あんしん修学支援制度」を最大限に生かして学費の全額無償化を多くの生徒に対して実現しております。加えて兄弟姉妹減免制度、学力・文化スポーツ奨学生制度など、本校独自の支援制度も実施しております。経済的理由により本校での学業を断念することがないよう、各府・県・市町村の修学資金等のお知らせの徹底を図るなど、学園として可能な限り支援していく考えです。																													
(6) 今後5年程度の保護者 負担軽減計画	現時点では納付金の削減計画はありません。																													